

出張報告書

日程

- 12月10日（水）
 - 中部国際空港発（仁川国際空港経由）
 - ミラノ・マルペンサ空港着
 - トリノ市内着

- 12月11日（木）
 - レッジョ劇場訪問
 - トリノ工科大学訪問
 - トリノ東洋博物館訪問
 - 歓迎レセプション（トリノ王宮博物館内）

- 12月12日（金）
 - ウンベルト1世高校訪問
 - 児童書画展見学（統合情報センターPIU）
 - トリノ市長表敬訪問（トリノ市役所）
 - Degustando Washoku 参加（グリーンピー）

- 12月13日（土）
 - エジプト博物館訪問
 - トリノ市立近現代美術館訪問
 - 文化の川参加（ポーロ・デル・ノヴェチェント）

- 12月14日（日）
 - トリノ市内発
 - ミラノ・マルペンサ国際空港発（香港国際空港経由）

- 12月15日（月）
 - 中部国際空港着

12月11日(木)

○レッジョ劇場訪問

場 所：レッジョ劇場

目 的：視察及び海外公演協力依頼

対応者：マチュー・ジュヴァン 管理者

ウベルタ・ボナミーゴ 戦略開発・外部協力運営コーディネーター

内 容：

- ・レッジョ劇場を訪問し、マチュー・ジュヴァン管理者より劇場の概要について説明を受けるとともに、施設の視察を行った。
- ・説明では、イタリア国内の主要劇場14館の多くが自治体所有であること、また若者の文化参加促進を目的として30歳以下を対象に劇場への無料招待を実施していることなどが紹介された。
- ・2027年1月27月に予定されている名古屋フィルハーモニー交響楽団の海外公演に向けて相互に協力していくことを確認した。



(視察の様子)

○トリノ工科大学

場 所：トリノ工科大学

目 的：施設見学及び大学交流のお礼

対応者：エレナ・マリア・バラリス 副学長

アルベルト・サポラ 国際化担当副学長

ジュゼッペ・クアリア ジャパンハブ ディレクター

ジョヴァンニ・コルッチ ジャパンハブ リサーチマネージャー 他

内 容：

- ・エレナ副学長より、大学の概要及び国際交流の取組について説明を受けたのち、大学内の視察を行った。

- ・トリノ工科大学では、応用化学、環境、建築分野等に力を入れており、化学分野において世界第16位の大学ランキングを獲得していることや学生の22%（約8,100人）が外国人学生で、外国人学生向けに英語で授業を実施していることなどが紹介された。また、日本との交流に力を入れており、日本にハブを設け、戦略的に学生交流を進めているとの説明があった。
- ・これまでのトリノ工科大学との交流に対する感謝と今後の発展を願う名古屋市立大学学長からの親書が渡された。
- ・名古屋市立大学芸術工学部の学生2名と面会し、学生生活の状況について話を聞いた。



(説明の様子)



(親書を手交する様子)

○トリノ東洋博物館

場 所：トリノ東洋博物館

目 的：施設見学

対応者：ダビデ・クアドリオ 館長

内 容：

日本人アーティスト・塩田千春による企画展を視察したほか、アジア各地域の美術品が展示されている常設展を見学した。



(企画展の視察)

○歓迎レセプション

場 所：王宮博物館内カフェテリア

目 的：姉妹都市提携20周年を祝うため

出席者：カルロッタ・サレルノ 教育・学校施設担当副市長

小林 敏明 在ミラノ日本総領事館総領事

コッパ・チェントロ・ジャッポーネ 実行委員会委員長 他

内 容：

- ・トリノ市が開催した歓迎レセプションに出席し、関係者による挨拶が行われたほか、コッパ・チェントロ・ジャッポーネ実行委員会委員長よりトリノ市へ記念モニュメントの寄贈が行われた。
- ・コッパ・チェントロ・ジャッポーネ実行委員会委員長からは、今後のコッパ・チェントロ・ジャッポーネに対する展望の他、モニュメントは自動車製造技術を結集して作ったことなどについて発言があった。
- ・西川議長からは、今後はコッパ・チェントロ・ジャッポーネ実行委員会をはじめとした民間主導の交流や、先に訪問したトリノ工科大学の視察も踏まえ、学生交流をさらに深めていきたいとの発言があった。
- ・広沢市長からは、名古屋市の魅力発信を通じて今後さらなる市民レベルでの交流を広げていきたいとの発言があった。
- ・小林総領事からは、日伊行動計画やイタリアと日本の外交関係樹立160周年などに触れつつ、両市の友好・協力関係の一層の発展に期待する発言があった。

○12月12日（金）

○ウンベルト一世高校

場 所：ウンベルト一世高校

目 的：施設見学及び学生交流のお礼

対応者：マリア・テレーザ・フルチ 校長他

内 容：

- ・トリノ市への市立高校生海外派遣事業で受入れを行っているウンベルト1世高校を訪問し、講堂にて学生による歓迎会が開催された。歓迎会では、同校に派遣された名古屋市立高校生の活動を紹介する映像が上映された後、市長および議長が挨拶を行ったほか、在校生との交流が行われた。
- ・広沢市長からは、両市の産業面における共通点として、トリノにはフィアット、名古屋にはトヨタがあり、こうした背景のもとで交流が深まってきたとの説明があった。

- ・西川議長からは、ウンベルト一世高校の学生に向けて、名古屋市立大学をぜひ進学先として目指してほしい、という期待が語られた。



(在校生との交流の様子)

○児童書画展見学

場 所：統合情報センターPIU

目 的：児童書画展交流の視察

内 容：

姉妹都市との国際交流の一環として、児童・生徒の絵画や書の作品を交換・展示する取り組みを行っており、名古屋市からトリノ市へ送付した作品が展示されている様子を視察した。



(展示の様子)

○トリノ市役所表敬訪問

場 所：トリノ市役所

目 的：表敬訪問

対応者：ステファノ・ロ・ルッソ 市長

ヴァレンティーナ・カンパーナ市長室長

ロザンナ・プルキア副市長

マリア・ボッティエーリ協力・国際関係局長

内 容：

- ・トリノ市長を表敬訪問し、姉妹都市交流20周年を記念して制作された名古屋友禅のタペストリーをトリノ市へ贈呈した。トリノ市からは、マダマ宮殿の銅板印刷の作品が寄贈された。
- ・広沢市長からは、心温まる式典に対する感謝の他、トリノ市との姉妹都市提携20周年を祝う言葉や、文化交流を通じて今後も両市の友好関係を一層深めていきたいとの発言があった。
- ・西川議長からは、これまでの視察先において受けた温かい歓待への感謝の言葉とともに、若者や民間交流を通じて、今後の姉妹都市交流をより一層深めていきたいとの発言があった。
- ・トリノ市長からは、9月の名古屋訪問時における感謝が述べられるとともに、名古屋市との交流を一層重視していきたいという発言があった。



(表敬訪問)



(名古屋友禅タペストリー贈呈)



(銅板印刷作品寄贈)

○Degustando Washoku

場 所：グリーンピー

目 的：名古屋市PRのため

参加者：ミケーラ・ファヴァーロ 副市長

マリア・ボッティエーリ協力・国際関係局長他

内 容：

- ・トリノ市内にて行われた食のイベント「デグスタンド和食」に参加し、オープニングセレモニーでは広沢市長及び西川議長が挨拶したほか、なごやめしブース及び観光PRブースを出展した。
- ・オープニングセレモニーでは、名古屋市PR動画の放映や鏡開きも行われ、ミケーラ・ファヴァーロ トリノ市副市長も登壇した。
- ・なごやめしブースでは、「みそかつ丼」を振る舞い、来場者に名古屋独自の食文化を体験してもらった。
- ・観光PRブースでは、名古屋の魅力を紹介するポスターの掲示やPR動画の放映に加え、パンフレットやノベルティの配布、日本酒の試飲など、多様な方法で名古屋をPRした。また、名古屋銘菓である「ういろう」や「えびせんべい」も配布した。



(オープニングセレモニー)



(名古屋めしブース)



(観光PRブース)

○12月13日(土)

○エジプト博物館

場 所：エジプト博物館

目 的：施設見学

対応者：学芸員

内 容：

- ・学芸員からガイドを受けながら、館内の視察を行った。
- ・学芸員からは、トリノ・エジプト博物館は約2000年の歴史を有し、約4万点に及ぶ展示品を収蔵・展示する世界有数のエジプト専門博物館であること、約5000年前の实在のミイラなど貴重な資料を所蔵していることについて説明を受けた。
- ・展示されているミイラについては、亡くなった方の尊厳を尊重し開封は行わず、レントゲン等の非破壊調査により内部を確認しているとの説明を受けた。



(展示されているミイラ)

○トリノ市立近現代美術館

場 所：トリノ市立近現代美術館

目 的：施設見学

対応者：エレナ・ヴォルパート学芸員 他

内 容：

- ・特別展「夜」を鑑賞するとともに、2027年に名古屋市美術館で開催予定のアントニオ・フォンタネージの巡回展に出展予定の作品を視察した。
- ・アルツハイマー患者など、美術館への来館が難しい人々へ芸術体験を届けるため、スタッフが外部施設（介護施設など）へ出向く活動を行っていることについても説明があった。



(特別展「夜」視察の様子)



(アントニオ・フォンタネージの作品)

○文化の川

場 所：ポーロ・デル・ノヴェチェント

目 的：名古屋市PRのため

対応者：ロザンナ・プルキア副市長他

内 容：

- ・トリノ市内にて現地日系コミュニティが主催する日本紹介イベント「文化の川」に参加し、オープニングセレモニーでは広沢市長及び西川議長が挨拶を行ったほか、名古屋市立大学芸術工学研究科の向口武志教授が名古屋の産業の歴史についてのビデオ講演を行った。また、講演会後の交流会にて参加者へ「ういろう」や「えびせんべい」といった名古屋銘菓を提供した。
- ・オープニングセレモニーに参加したロザンナ・プルキア副市長からは、名古屋市とトリノ市が姉妹都市提携20周年を迎えた喜びと、2027年1月の名古屋フィルハーモニー交響楽団によるレッジョ劇場での公演など、今後の文化交流への期待が述べられた。



(向口教授講演会の様子)



(交流会の様子)